

**日清製粉：国内全9工場で「JFS-E-C」の認証取得
～食品安全マネジメントシステムの更なる拡充～**

日清製粉グループの日清製粉株式会社（社長：山田 貴夫）は、この度、日本発の食品安全マネジメントシステム「JFS-E-C」の認証を、国内全9工場で取得しました。

日清製粉(株)では、これまで「ISO22000」の認証取得や「AIB（アメリカ製パン研究所）フードセーフティ監査・指導システム」の受審により、食品安全への取組みを積極的に推進してきました。2012年には本社と国内全工場が一体となって、国際的な食品安全マネジメントシステム規格である「FSSC22000」の認証を取得しました。

「JFS-E-C」に関しては、昨年9月に鶴見工場が国内の食品会社として初めて、続いて12月に知多工場が認証を取得しました。今回さらに「JFS-E-C」の規格を全工場に拡大することで“品質管理”と“食品安全”の一層の強化を図って参ります。

<認証取得概要>

事業者名 : 日清製粉株式会社
事業所名 : 国内全9工場（函館、千葉、鶴見、名古屋、知多、東灘、岡山、坂出、福岡）
認証取得日 : 鶴見：2016年9月6日、知多：2016年12月1日
他7工場：2017年7月7日
審査登録機関 : JIA-QAセンター（※）

※「FSSC22000」を始め、「ISO22000」、「ISO9001」等の審査を行う第三者認証機関です。日本で米国の公衆衛生に関する規格の工場審査を行う等、食品安全分野においては、高い専門性と実績があります。

～「JFS-E-C」とは～

「JFS-E-C」は、一般財団法人食品安全マネジメント協会「JFSM(Japan Food Safety Management Association)」が昨年7月に公表した日本発の食品安全マネジメントシステムにおける製造セクターの規格です。従来の国際規格である「FSSC22000」に、「現場からの改善提案の活用」と「食品偽装防止対策」の2点を追加した、より厳しい規格となっており、今後国際標準を目指すとしております。「JFSM」は、昨年1月に日清製粉グループ本社を含む食品事業者18社と有識者2名が設立者となり、食品事業者の食品安全、品質管理及び信頼性確保等を目的として設立された団体です。

この件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先

(株)日清製粉グループ本社 総務本部 広報部 担当：開、寺岡ひらき
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650